



むかい

学校教育目標

- ・かしこく
- ・やさしく
- ・たくましく
- ・なかよく

「あたりまえ」の中にある「ありがとう」

校長

秋風が心地よく吹き渡り、校庭の木々も少しずつ色づき始めました。朝夕の涼しさとともに、季節の移ろいを感じる頃となりました。子どもたちは2学期の学校生活にもすっかり慣れ、学習や行事に元気いっぱい取り組んでいます。

9月は、各学年でさまざまな活動が行われました。5年生は自然の教室で、仲間と協力して登山や野外活動に取り組み、寝食をともにする中で、友達との絆を深めました。6年生は、いよいよ修学旅行を迎えます。歴史や文化に触れるだけでなく、仲間と過ごす時間を大切にしながら、「自分たちで考え、行動する」ことを意識し、充実した2日間にしてほしいと思います。

さて、本校では、これまで子どもたちに「4つのあ」——「あいさつ」「ありがとう」「あんぜん」「あきらめない」を大切にしていこうと伝えてきました。今回は、その中の「ありがとう」について、少し考えてみたいと思います。

私たちは、毎日の生活の中で、つい「これがあたりまえ」と思ってしまうことがあります。朝、きれいな教室で学習できること、給食をみんなで食べられること、安心して学校生活を送れること……。しかし、その「あたりまえ」の一つ一つは、決して自然にできているものではありません。掃除をする人、学校の環境を整える人、給食を作ってください人、そして、子どもたちを支えてくださるご家族や地域の皆様など、多くの人の支えがあって成り立っています。

「あたりまえ」と思っていることに気付くと、そこには「ありがとう」が見えてきます。

今年度、本校は開校30周年という大きな節目を迎えます。11月の記念行事に向けて、学校の環境も整えています。きれいな校舎で過ごせることも、30年間、多くの方々が学校を大切にしてくださったからこそです。この節目を、これまで本校を支えてくださった皆様への感謝を感じる機会にするとともに、これからの学校を自分たちで大切につくっていく気持ちを育てる機会にしたいと考えています。

秋は「学びの秋」「実りの秋」です。運動会や修学旅行など、子どもたちが挑戦し、成長する機会が続きます。一人ひとりが自分の力を発揮するとともに、友達の頑張りや周りの人の支えにも目を向け、「ありがとう」の気持ちを行動につなげてほしいと思います。

「あたりまえ」の毎日にあるたくさんの「ありがとう」に気付きながら、みんなでよりよい学校をつくっていきたいと思います。

今月も、子どもたちの一步一步の成長を大切にしていまいります。保護者・地域の皆様には、引き続きご理解とご協力をよろしくお願いいたします。